

1. 現行計画策定以降における社会環境の変化

世界的・全国的な変化

- 日本国内における急速な**人口減少**、**少子高齢化**、**東京一極集中**の進行
- **新型コロナウイルス感染症の影響** ⇒ **価値観や意識の変化**
 - ・地域経済の疲弊と雇用情勢の悪化、コミュニティ活動の停滞
 - ・新しい生活様式の定着、**デジタル化**の進展、地方暮らしへの関心の高まり
- **気候変動の深刻化**、**SDGs(持続可能な開発目標)**や**脱炭素**への意識の高まり
- **頻発・激甚化する自然災害**、南海トラフ巨大地震・首都直下地震のリスク
- **インバウンドの拡大** (外国人延べ宿泊者数 2015年 6,562万人泊 ⇒ 2019年 11,566万人泊)*
- **農林水産物・食品輸出額の増加** (2015年 7,451億円 ⇒ 2020年 9,217億円)**
- **ダイバーシティ(多様性)の進展**

* 観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき内閣官房作成 ** 財務省「貿易統計」等に基づき農林水産省作成

新潟市における変化

- 少子高齢化の進行に伴う**人口自然減の拡大**
- 就職する年齢層(20~24歳)を中心とした**若い世代の東京圏への転出超過**
- **新潟駅周辺整備事業の進展**、**都心エリアの再開発** ⇒ **新たな都心軸の誕生**
- 他の自治体や民間団体等との**連携体制の広がり**

2. ウイズコロナ・ポストコロナ時代におけるまちづくりの基本的方向性

選ばれる都市 新潟市 (R3.2月公表)

<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">これからのまちづくりの基本的方向</div> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな都心軸の誕生 ・8区のネットワークの深化 ・国・県と連携した拠点化プロジェクトの推進 	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">選ばれる新潟市</div> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市と田園が調和した暮らしやすいまち ● 訪れたいまち ● ビジネスを展開するまち
---	--

第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (R3.1月策定)

将来にわたって活力ある新潟市を実現するための3つの方向性

- **地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する**
- **人口減少を和らげる**
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「新潟への誇りと愛着を育む」、「魅力を高め、ひとが集う」
- **人口減少社会に適応する**

3. 市民意見・新潟市の強み

市民参加事業における主な意見 (市民参加事業全体の結果は3月公表予定)

<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">LINEアンケート (R3.11~12月実施、621件回答)</div> <p>テーマ:2030年の新潟市がどのようなまちになっていると良いか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田舎っぽさを活かしつつ都会の良さと両方兼ね備えたまち ・ Uターン就職で戻ってくる若い人が増え、企業が元気になり、活気があふれるまち ・ 子どもたちが地元で愛着をもち、健やかに成長できるまち ・ 子どもからお年寄りまで、安心安全で、心身ともに豊かで爽やかな生活を送れるまち 	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">パパママのまちづくりワークショップ (R3.9~10月開催、26人参加)</div> <p>テーマ:子育てしやすい希望の子どもの数をかなえられる新潟市となるには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域が子育て世帯に優しく、みんなで子育てできるまちにする ・ 育休を取得しやすく、働きながら子育てできるまちにする ・ 子育て世帯への支援が充実しているまちにする ・ 子どもや子育て世帯が利用する施設を充実 させる
<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">学生が描き、創る未来の新潟市ワークショップ (R3.10月開催、30人参加)</div> <p>テーマ:2030年の理想の新潟市に向けた方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャレンジに寛容/地元愛×起業/変化に素早く適応できる ・ No.1の魅力をつくる/新潟市のシンボルを全面に打ち出す ・ 先進的なDX都市を目指す ・ SNSの活用と協働の場の創出 ・ 多様な生き方、働き方ができる 	<div style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px; text-align: center;">みんなで新潟市のミライをかたるワークショップ (R3.11月開催、36人参加)</div> <p>テーマ:多様・多世代の市民が考える、新潟市のまちづくりの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての人にとって住みやすい多様性のあるまち ・ 子どもへの教育、子育て支援の充実を図り、子育てしやすいまち ・ 環境にやさしく自然を生かした持続的なまち ・ 企業に力があり、誰もが働きやすい、起業しやすいまち

新潟市の強み

- **都市と田園の調和**によりもたらされる暮らしやすさ
- **世界に誇る豊かな食文化**
- **個性豊かな地域に根差した歴史・文化・スポーツ**
- **新しい時代を支える優れた人材輩出力** など
- 国内外と結ばれた**高い拠点性**
- **全国トップクラスの農業力**
- 大都市でありながらも**優れた地域力**

4. 次期総合計画の基本的考え方

基本的方向

- 急速に進行する**人口減少**や**少子高齢化**への対応が最重要課題
- 加えて、**新型コロナウイルス感染症による社会の変化**や、**SDGsの達成**といった**世界的な課題**への対応が急務
 - ⇒ このような状況において、新潟市が大切にすべきものは、**市民が心豊かに暮らしつづけられること**
- 新型コロナウイルス感染症の流行により浮かび上がってきた、**都市部と田園地域の調和**がもたらす**暮らしやすさ**など、**本市の強みを活かし**、将来にわたって活力ある都市であり続けるため、日本海拠点都市として**国内外から選ばれるべく、官民の総力を結集し本市の存在感を高めていくことが重要**
 - ⇒ 健全な行財政運営のもと、**市民が心豊かに暮らせる持続可能な新潟市**、**明るい未来に向かって進化する新潟市**を築いていく

策定のポイント

- 人口減少や少子高齢化対策をより強力に推進するため、「**第2期新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略**」と**一体化**
- 持続可能なまちづくりを念頭に置き、**SDGsを意識した総合計画**とする
- 基本計画内に**成果指標を設定**し、都市像の実現に向けた政策・施策の進捗を管理
- 計画期間(2023~2030年度)よりもさらに一歩先の**将来(2040年頃)に想定される変化・課題**も見据えて検討

×